



活発な意見交換が行われました

# 市民の声を市政に反映

〜みらい平地区で対話集会〜

地域の皆さんのご意見やご提言を市政に反映するため、7月25日、みらい平地区のセンチュリーつくばみらい平において、市民対話集会を開催しました。

当日は、センチュリーつくばみらい平から40人の方が参加され、市からは、副市長、教育長、各部長などが出席し、活発な意見交換が行われました。

参加された方々からは、福祉・教育・道路問題など、市に対する多くのご意見・ご提言をいただきました。

これらのご意見などについては、これからのまちづくりの参考とさせていただきます。

いただいた主なご意見と回答

を紹介いたします。

## 【ご意見】

子育て支援、福祉問題についての市の方針を伺いたい。

## 【回答】

### 1 保育所・幼稚園について

保育所は公立6カ所（定員450人）で、現在は待機児童はいません。私立は2カ所です。幼稚園は公立が3園ありますが、22年度以降は入園者増が見込まれるため、既存のわかくさ幼稚園の園舎を増築する計画です。また、谷和原幼稚園については、谷原西部地区に保育所と一体的に整備する事業を進めています。（平成23年10月開園予定）

2 児童手当・医療費の助成について

児童手当は「児童手当法」という法律に基づき実施しています。3歳未満一律1万円、3歳以上の第1子、第2子が5000円、第3子以降が1万円です。

医療費助成については、小学校就学前の児童を養育している方を対象にした「マル福」という助成制度があります。いずれも所得制限が設定されています。

市では、今後も対話集会を続けていきますので、希望される方はご相談ください。

伊奈庁舎秘書広聴課  
☎58・2111（内線1201）

## うれ 備えあれば憂いなし

今年で50回目を迎える鬼怒・小貝水防連合体水防訓練が7月5日、常総市の鬼怒川河川敷で行われました。訓練は、「関東地方へ上陸した台風の豪雨により、鬼怒川水位上昇、河川がはん濫する恐れがある」との想定で行われ、本市の他、常総市、つくば市、下妻市および八千代町の消防関係者約500人が参加しました。



折り返し工法を行う消防団員たち

近年は、地球温暖化が原因とされる局地的集中豪雨が全国各地で大きな被害をもたらしており、また、これからが台風シーズンの本番を迎えることから、訓練に参加した関係者は一様に、本番さながらの「むしろ張り」や「積み土のう」など水防工法の訓練に、真剣に汗を流していました。



積み土のうを行う消防団員たち

3 身体障がい者に対する福祉行政について

市では、国の「自立支援法」に基づき、障がいのある方が地域で自立した生活ができる地域環境の実現に向け、諸サービスを実施しています。また、児童に対するものと同様に、医療費助成制度「マル福」があります。

障がいの程度によって該当するサービスは異なりますので、皆さんの事情にあったサービスを提供していきたいと考えます。

伊奈庁舎秘書広聴課  
☎58・2111（内線1201）

## 年度更新をお忘れなく！

現在、それぞれの手当受給資格者（支給停止の方も含みます）の方に年度更新の通知をお送りしています。内容をご確認のうえ、次の期日までに必ず更新手続きをしてください。

### ◎ 児童扶養手当

8月31日(月)までに「現況届」の提出が必要です。この届出により、8月分以降1年間の手当受給の可否が決定されます。

### ◎ 特別児童扶養手当

9月4日(金)までに「所得状況届」の提出が必要です。この届出により、8月分以降1年間の手当受給の可否が決定されます。

### ◎ 特別児童扶養手当

伊奈庁舎社会福祉課  
☎58・2111（内線1154）



## 児童扶養手当・特別児童扶養手当